

家庭、技術・家庭

生活や社会の変化に主体的に対応する資質・能力を育成する授業づくり

授業づくりのポイント ※数字は題材構成と評価計画の例と対応

- ① 児童生徒の身近な生活との関わりや社会とのつながりを重視して題材を設定する。また、各指導事項の関連を図りながら、系統的・総合的に学習を展開できるよう題材の構成を工夫するとともに、実践的・体験的な学習過程を意識する。
- ② 問題解決能力を育成するために、技術分野、家庭科、家庭分野における一連の学習過程を踏まえて題材を構成する。また、ICTを効果的に活用するなど学習過程の各段階の充実を図る。
- ③ 題材を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にするとともに、技術の見方・考え方、生活の営みに係る見方・考え方を働かせた児童生徒の姿を想定し、授業においてその姿を見取り、価値付ける。
- ④ 内容のまとまりを見通しながら、評価の場面を精選し、評価の方法を工夫する。また、自己評価や相互評価の場面を意図的に設定することで、自身の学びや変容を自覚できるようにする。

家庭分野の題材構成と評価計画の例

中学校第2学年 題材名「健康・快適で持続可能な衣生活」(全14時間)

<指導内容> 内容B (4)衣服の選択と手入れ (5)生活を豊かにするための布を用いた製作

◇題材の目標【知識及び技能】

衣服と社会性との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用と必要性、日常着の手入れ及び製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。

◇題材の評価規準【知識・技能】

- ・衣服と社会性との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。(内容B(4))
- ・衣服の計画的な活用の必要性和衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、日常着の洗濯などが適切にできる。(内容B(4))
- ・製作する物に適していた材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。(内容B(5))

知識・技能……………○知識 ●技能
 思考・判断・表現……………☆課題の設定 ★解決策の構想
 □評価・改善 ■表現
 主体的に学習に取り組む態度…◇粘り強さ ◆自らの学習の調整
 △実践しようとする態度

◇指導と評価の計画

学 習 活 動	評価の観点		
	知技	思判表	態度
小題材(1時間) 衣服の一生(衣服の選択から廃棄まで)		☆	
小題材(2時間) 衣服の選択と着用	○	☆ ★ □	◇
小題材(4時間) 衣服を長く大切に	○		
時	行動観察や相互評価の記述内容から評価 練習布の状況や、確認テスト等から評価	☆	
1		★	◆
2		□	
3		■	
3	○		△
4	●		
小題材(6時間) 衣服等を再利用した生活を豊かにする物の製作	○	☆ ★ □	◇
小題材(1時間) 健康・快適で持続可能な衣生活を送るために	●	■	△

評価規準については、【知識・技能】の観点は二つ、【思考・判断・表現】の観点は、学習過程に沿って四つ、【主体的に学習に取り組む態度】の観点は三つに分けて設定して評価します。題材を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、適切に評価を実施できるように指導計画や評価計画を作成する段階から、評価する場面や方法等を意図的に設定することが大切です。 ②④

教師による行動観察だけでなく、生徒の相互評価の記述から評価することも考えられます。その際、1人1台端末を活用して洗い方を動画で撮影し合い、その様子を比較しながら互いに評価することも考えられます。 ②④

3時間目(指導に生かす評価)
 練習布の縫い方の状況や学習カード等の記述から状況を把握し、生徒の学習改善、教師の指導改善に生かします。
 4時間目(記録に残す評価)
 実習の様子や学習カード等への記述、確認テストから状況を把握し、観点別の学習状況の評価を総括する際の資料となるよう記録します。

資質・能力を確実に育成するために、日々の授業の中で生徒の学習状況を適宜把握し、指導や学習の改善に生かしたり、観点別の学習状況を記録に残す場面を精選したりすることが大切です。 ④

児童生徒が、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決策の検討、計画、実践、評価改善といった一連の学習過程を通して、児童生徒が課題を解決できた達成感や実践する喜びを味わい、次の学習に主体的に取り組むことができるようにすることが大切です。 ①②